



地域包括ケアシステムについて

最近「地域包括ケアシステム」という言葉をよく聞きますが、その意味をご理解されている市民の方は少ないのではないのでしょうか？



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症サポート医

10年後をめぐりに、「ご高齢の方が自分らしい生活を「ご自宅」で安心して過ごせる街」をつくらうというものです。
先日、西東京市で地域包括ケアシステムについての講演会があり、医師会、歯科医師会、急性期病院、市民の代表の方々が、それぞれの立場で意見を述べていました。その際、市民の代表の方から「先生方が、安心して過ごせる街づくりをしてくださいませんか？」という発言がありました。

それを聞いた時に私が感じたことは、「自立している健康な方ですら不安を覚えているのなら、私が日頃接している要介護や病気で自宅療養している方々には、もっと大きな不安があるに違いない」というものでした。
西東京市の現状で話せば、在宅医療機関と訪問看護ステーションで、24時間365日、十分な対応ができていないところは少数です。また当院のように24時間対応をしていますが、在宅医療自体への根強い不安感が壁になっています。先日も、自宅での看取りを望んでいたがん末期の患者さんが、結局ご家族の不安が強く、急性期病院に搬送されたと後で知らされ、

ショックを受けました。まだまだ自分の未熟さを感じることも、地域包括ケアシステムの根底にある「在宅医療への不安の解消」こそが社会の課題であると改めて痛感します。私もその解消に全力を注ぐ覚悟です。

当院では、小さな努力ではありますが、まずは看護師の数を増やし、患者さんやご家族への訪問を通して、不安の解消を目指すことから始めていきます。

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
 西東京市東町 4-14-18-2F
 (訪問中のため不在が多い)
 ■電話対応 : 午前 9:00 ~ 午後 6:00
 ■定休日 : 土日 (祝日は診療)
 ■訪問地域 : 西東京市全域、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック